

平成29年 1 2017 No.348

# けねへつ

JA広報





# 謹賀新年

計根別農業協同組合

信用事業担当理事	理事兼務参事	監事	監事	代表	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長	代表理事組合長	
職	松	中	浮	本	安	須	助	深	石	漆	北	西
員	岡	瀬	中	田	齊	崎	口	瀬	毛	原	村	塚
一	幸		喜		宏			信		俊		秀
同	樹	滿	佐	勉	一	智	明	孝	剛	之	篤	夫



# 年頭ご挨拶

新年明けまして、おめでとうござい  
ます。  
組合員の皆様にはご家族共々、ご健  
勝で平成29年の輝かしい新春を迎えら  
れました事に心からお慶び申し上げます。  
また、昨年中は農協の事業運営に  
対し、ご指導、ご協力、ご支援を賜り  
ました事に心から感謝とお礼を申し上  
げます。  
さて、昨年は春からの天候不順によ  
り、組合員の皆様は粗飼料収穫等に大  
変なご苦労をされた年だったと思いま  
す。現段階では、量的にそれなりのも  
のが確保されたと伺っておりますが、  
デントコーンについては品質並びに量  
等が例年と比較してかなり悪いとい  
う事であり、これからの生乳生産にど  
のような影響が出るのか危惧している  
ところでございます。  
また、数年前から農業団体をはじめ  
として多くの団体が反対しております  
TPPでございますけれども、安倍政  
権は11月の衆議院本会議を経て、先月  
の参議院本会議にて関連法案等を可  
決・成立させたことから、日本としま  
しては事実上の批准をしたことになり  
ました。これに対して、アメリカでは  
このたびの大統領選挙によりトランプ  
次期大統領がTPPの離脱を明言して  
いることからTPPの発効は非常に困  
難な状態となっているものの、日本政  
府は引き続きアメリカに批准を働きか  
ける方針であり、今後もどのようにな  
るのか予断を許さないとところでござ  
います。  
さらに、農協改革、農業改革につき  
ましては、先般11月に規制改革推進会  
議等から全農並びにJAの委託販売を  
1年以内に全面的に買取りへ移行する  
もう一つは、信用事業について今後3

年以内に信用事業を営むJAを半減さ  
せるといふ提言がございました。加え  
て、北海道で活用されておりますクミ  
カン制度についても即時撤廃という提  
言をされたわけでございまして、購  
買・販売事業については平成31年まで  
に自己改革による年次計画を立てて取  
り組み、信用事業譲渡やクミカン制度  
廃止等については見送られることとな  
りました。  
しかしながら、これらのことを題材  
として農協事業の在り方や販売・購買  
の仕方など、様々な点で足枷が掛かっ  
てくるということが十分予想される  
ので、今後とも国に対して私たちは現  
行制度を守りながら、さらに不都合な  
ところは見直ししながら精一杯取り組  
んでいかなければならないと考えてお  
ります。  
次に、指定団体につきましては、今  
まで無条件全量委託が大原則でしたけ  
れども、それらのなかに部分委託でも  
補給金を交付するということが決まり  
ました。このことは、指定団体が今ま  
で果たしていた需給調整機能、さら  
にメーカーとの価格交渉に関すること  
に加えて条件不利地域の収入に関する  
プール計算など、それらのこともクリ  
アしなければならぬということにな  
ります。このことについては、アウト  
サイダー、指定団体、乳業メーカー、  
生産者を含めた話し合いとなりますが、  
これらの考え方によっては、今まで全  
国の指定団体、酪農家との歩調を合わ  
せながら、北海道として飲用乳ばかり  
ではなく、加工としても成り立つよう  
なプログラムのある調整をしてきたと  
うようなものか不安を隠しきれない状  
況となりました。

このことは、5年10年先の乳価が安  
定的なものではなくなる可能性を持  
っておりますし、今現実には起きているこ  
との一部の地域で飲用乳の安売りが起  
われており、飲用乳の値崩れ現象が起  
こりつつあるということでございます。  
これは、MMJの僅か1%にも満たな  
い方々のために手取り乳価の下落とい  
うことへと繋がっており、多くの酪農家が大  
きな打撃を受けることとなります。  
したがって、指定団体や農協を利用  
している組合員さんにつきましては、  
この制度を守りながら農協として一糸  
乱れることなく、皆様のお話しを聞き  
ながら牛乳販売等さらには農協事業に  
取り組んでいかなければというよう  
に思っております。  
このような状況のもと、平成29年度  
加工原料乳生産者補給金単価及び交付  
対象数量につきましては、新たに交付  
対象に加えた液状乳製品向けと脱脂粉  
乳・バター等向け、チーズ向けの各用  
途を一本化する新補給金単価としてキ  
ロ10円56銭、交付対象数量については  
350万トンとされ、平成29年度政府  
予算案に370億円を計上するなど、  
生産現場の要望を踏まえて前年比64億  
円増となる予算を積み増す形での決着  
となりました。

農協事業につきましては、年度当初  
より牛乳の増産基調が続いておりまし  
た。このことにより前年を下回ってはい  
ないものの、伸び率が縮小して参りま  
した。これは、今年の収穫されたエサ  
が原因と考えられ、さらには台風等の  
影響による湿気の中で牛たちが受けた  
ダメージは予想以上のものだったとい  
うようにも思っておりますので、冬期  
間の飼養管理により、生乳生産が少し  
も上向くことを願っております。  
一方、クミカン収支状況でございま  
すが、これらは皆様も既に実感してい  
ると思いますが、私も農協役員になっ  
て34年間で初めての経験であり、誠に  
良好な形で推移しました。昨年の締め  
にあたっては、ほとんどの組合員さん  
はそれほど苦労されることなくクミカ  
ンを締めることができたということで、  
乳価も約97円、個体販売も例年の1.  
5倍という高値で推移したことが大き  
な要因となりました。このことを一つ  
の契機として、組合員皆様の経営の中  
で効率の良い生乳生産と経営状況を確  
立して頂ければと思っております。  
昨年は、異常気象の中で8・9月に  
掛けて北海道にとつて4度に亘る台風  
が直接上陸しました。この地域におき  
ましては、それほど大きな被害は受け  
ておりませんが、全道の組合員の中に  
は来年の営農も覚束ないという方も  
多いと思えます。特に、十勝地方におき  
ましては、畑作の中でも一番大事な畑  
そのものが流失するなど甚大な被害を  
もたらすこととなり、皆様にお願いを  
して台風被害に対する見舞金等を集め  
させて頂き、さらにはホクレンや信連  
等をはじめとする関係機関も各種支援  
対策を講じるなど被災地の方々から  
も早く立ち直ってくださることを心から  
祈っております。  
結びに、本年が皆様とご家族一同が  
ご健勝であり、また、地域・JAに  
とつて豊饒な一年であることをお祈り  
申し上げます。新年のご挨拶とさせて頂き



## 「年頭にあたって」

代表理事組合長

西塚 秀夫





## 年頭ご挨拶

皆様にはお健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、この新しい一年がご家族とも健康で健やかな年となりますようお祈り申し上げます。

昨年を振り返ると生乳生産はクラスター事業による成牛舎新築やTMRセンターの順調な稼働、更には組合員全体の増産志向によって、クミカン年度で8821t（前年対比2913t増）となり、全体の三分の二の組合員が前年比増の結果となりました。

しかし、その生乳生産を支える乳牛資源は成牛と1歳以上の育成牛ともに前年をマイナスと次年度に向けては不安材料となっておりませんが、昨年末に決定した平成29年度の乳価は60銭値上げ、補給金単価に於いても生クリーム等を新たに交付対象数量に含めて10円56銭となり、

国と乳業メーカーが酪農基盤の強化と生乳増産へのメッセージとして受け止め、次年度に向け各種生乳安定生産対策や経営改善対策を講じて参りたい。

一方、政府の指定生乳生産者団体制度の改革案には生乳の特性を本当に理解しているのか疑問に感じました。生乳は毎日生産される一方で腐敗しやすく貯蔵性がない液体であるため、指定団体が乳業メーカーとの価格交渉や輸送コストの削減、販売調整力を強化することによって国から補給金が交付される仕組みであり、日本の乳製品を供給する酪農家全員が安心して良質な生乳生産が出来るこの制度を堅持していかねばならない。

また、政府の諮問機関である規制改革推進会議・農業WGは、①クミカン制度の廃止、②全農等の購買事業の縮小や買取販売への転換、③信用事業譲渡の促

進などを公表した。権限はないと云うものの、生産現場を無視した改革は断じて容認してはならない。

最近、農業界では「改革」という言葉を耳にする機会が増えてきている。安倍政権下では、大切な農業を守るためには農業改革や農業構造改革など実施が必要と唱えているが、そもそも改革とは基盤は維持しつつ、制度や組織を改めることであり、JAは相互扶助の精神のもとに農家組合員みんなの営農と生活を守り、よりよい地域社会を築くことを目的としてつくった組織であり、そのJAの意義を守っていくためにも、国が主導するのではなく、組合員が知恵を出しながら一体感のある行動を行わなければ、当地域農業の未来に禍根を残すのではないでしょう。

当組合は平成27年度に初めて

100億円の販売高を突破致しましたが、平成28年度においても生乳生産は当JA始まって以来の89000tを見込み、販売高も二年連続100億円を超える予定です。

併せて、組合員の経済も乳価や補給金の値上げや副産物価格の高値推移と良い状態にはありますが、一年先、10年先も良い経済状態にするため、生乳生産基盤整備と財務管理にJAと一緒に取組んで頂きたいと思っております。

最後となりますが、各事業への組合員各位のご意見を頂きながら時代の変化を見過ごすことのないように事業展開に努めますので本年も変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって病気や事故・災害のないすこやかな年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

今こそ、**協同組合運動**

参事中

瀬 満



## 年頭ご挨拶



# 平成29年の年頭に当たり

JA計根別青年部 部長

鹿野亮平

新年明けましておめでとうございませう。

組合員の皆様をはじめ、農協、各関係機関の皆様におかれましては、旧年中より青年部の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、青年部を代表して心より感謝申し上げます。

また、青年部員の皆様におかれましても、日頃より積極的にかつ意欲的な青年部活動への参加、運営して頂きました事、厚くお礼申し上げます。

平成28年度は、部長2年目という事もあり、昨年度当初の緊張しながらのスタートと違い、落ち着いた中でのスタートを切ることができました。と、言いながらもふざけ過ぎ、自由をやってしまう私を他の三役や役員のみんながしっかり支えてくれ、ここまで無事に青年部活動をする事ができました。

現在在籍している部員は46名と年々減ってきてはおりますが、個々の部員の意識が高く、少

活動ができています。三役、役員、そして部員皆様には本当に助けられているなあ、と感謝しております。

さて、平成28年度の青年部としては、昨年度も行われた交流会『青年部大運動会』が継続して行われ、多くの部員が参加のもと楽しく賑やかに部員間交流する事ができました。広報に掲載されましたが、顔を真っ白にした餡探しは、私が競技者となりましたが、あらためてこういった賑やかな事が好物であり、更には人のつながりを深めることができるかと確信致しました。

広報部会では、JA道青協主催の『動画で発信！農の魅力コンテスト』へ来年度参加していくことで、動き出しました。これにより、『けねべつ』や『酪農』をもっとPRしていきたいと思っております。

広報の面でも継続して活動を行った参加部員のインタビュー

を載せるなど、いかに広報を賑やかにし、見ている方に青年部の活動を知ってもらえるか工夫してくれています。私の専用コーナー『今月の鹿野部長』もバリエーション豊富に続けてもらい、大変嬉しい次第です。(笑)

また、青年部として大きな事業でもあります乳製品お歳暮事業も、お歳暮部会の部員が大変な苦勞のもと、正確な確認、梱包、発送と無事終える事ができました。この辺については部長はもう口出しをすることはなくらい、部会長をはじめ、しっかりとした部会員の皆様に任せられる安心感でいっぱいです。

そして昨年の大きなことでは、根室地区JA青年部大会において、『青年の主張発表大会』では本田拓哉君が最優秀賞、『アームレスリング大会』では加藤司君が優勝と素晴らしい結果を残してくれました。

2名とも全道大会の大舞台で

堂々とした発表、試技をしてくれ『JAけねべつ青年部』の名を全道各地の盟友へ広めてくれました。

そんな大きな充実感を感じた昨年でしたが、今年も更なる濃密な活動をしていき、飛躍した年にしていきたいと思う今日の頃です。

農業情勢としては、指定団体制度改革等これからの私たちの生産活動が大きく変化するかもしれない状況となってきました。どのような変化にも揺るがない地域の地盤を創っていくため、生産活動をしっかりと見直し、私たち若い世代も歴史を学び、青年部の横のつながりを強化し、連携をとって正しい情報を把握していきたいと思っております。

結びになりますが、本年も青年部に対しましてご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。



## 年頭ご挨拶

新年明けましておめでとう  
ございます。

組合員の皆様、女性部員の  
皆様各関係機関の皆様、日頃  
より、女性部活動にご理解、  
ご協力をいただきましてあり  
がとうございます。

そして、皆様のご協力のも  
と、計根別農協女性部は、60  
周年を迎えることができました。  
改めまして、ありがとう  
ございます。

60年を迎えたことで、ふと、  
考えることがありました。女  
性部の始まりは、女性も農協  
を守ろうとしたことが始まり  
と聞きました。それが、今で  
は幸せな事に、女性部中心の  
色々な活動をさせていただく  
部になっております。

本当に、ありがたいことで

もう一度、振り返る事で、  
女性部のあり方を考えなおす  
ことも大切だと思いました。

10月に地区の研修で長野県  
のJA松本ハイランドの理事  
の方と女性部長さん農協の方  
と意見交換をする機会があり  
ました。松本ハイランドでは、  
現在女性理事が5人います。  
初めは2人から始まり、10年  
かけて5人まで増やしたそう  
です。そのうちの2人の理事  
さんと話す機会があったの  
ですが、初めの1年くらいは、  
理事会で意見を言うこともで  
きなくて、悔しい思いをした  
そうです。でも、同じ地域か  
ら出ていた男性の理事さん  
に「お前らの頑張っているの

はわかっている、俺らが味方  
になってやるから思い切って  
自分の思っていることを言っ  
てみる!!」と、言ってもらえ  
て、それから自分たちの思っ  
たことを言えるようになった  
そうです。今では、女性理事  
は、男性理事からも農協から  
も頼れる存在で、次の役員改  
選では、1人増やして6人に  
したいと話しました。

松本ハイランドに行かせて  
いただいていた事は、女性  
理事の立場は、前に出るので  
はなく、男性理事を支えてい  
るんだと、凄く感じました。  
また、男性理事からも農協か  
ら信頼されていて、互いに  
支えあっている。JA松本ハ  
イランドに何とも言えない凄  
い勢いを感じました。

今、どこの農協女性部も、  
部員減少の傾向にあり、計根  
別農協女性部も問題は山積み  
ですが、先輩方が築かれたも  
のを守って行き、改めて、原  
点の重要さを噛みしめながら、  
私たち計根別農協女性部は70  
周年に向かって行けたらと思  
います。

最後になりましたが、今年  
は皆様にとって、良い年とな  
りますように、心よりお祈り  
申し上げます、新年の挨拶とさせ  
ていただきます。

今年も、どうぞ、計根別農  
協女性部をよろしくお願い申  
上げます

年頭あいさつ

JA計根別女性部 部長 長谷川 希美



## 年頭ご挨拶



# 年頭のご挨拶

根室農業改良普及センター北根室支所 支所長

平林 清美

新年明けましておめでとうございませう。旧年中は農業改良普及センターの活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、組合員の皆様、ならびにご家族の皆様にとりまして、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

昨年は、長雨と日照不足に悩まされた1年でした。台風直撃による大規模な被害には至らなかったものの、6月以降、雨が降り続き、太陽が顔を出さない気象経過により、ほ場作業の遅延や中止、作物の生育不良、家畜の体調不良など大きな影響が生じました。飼料作物は平年と比べ、乾物収量で牧草は2割減、飼料用とうもろこしは3割減となり、本年産の粗飼料が給与できなくなるまでは、在庫量を確認し必要量を見積もりながら、期を逸しない対応を図ることが必要になるかと思ひます。一方、高温多湿の厳しい環境での乳生産を強いられた夏場でしたが、他地域で生産量が落ち

込む中、JAけねべつでは順調な生乳出荷が維持され、酪農家の皆様や関係機関の皆様の日頃の努力はもろろんのこと、TMRセンター、コントラクタ、共同利用組合を活用した地域生産体制の整備や、新規就農者の積極的な受入と支援による成果を感じています。

さて、私たちは今、気象変動や世界情勢変化など、あまりにも大きく個々の力では如何ともし難い状況に直面しています。無論それらに関心を持つことは大事ですが、そのことばかりに目線がいつてしまうと、無力感ばかりが膨らみ、モチベーションの低下につながりかねません。少し視点を変え、足もとの身近なところにも目を向けてみてはどうでしょうか？

この段階で、牛に何か深刻な問題が起こっていることを察知し、原因を探し、具体的な対策がとれるかどうか、その農場の経営の善し悪しを左右する大きな要因となります。この時、牛たちに起こっていた悲劇は、凍らないはずの水槽が凍結し水を飲めなかった事でした。水を飲めるように処置してあげると、牛たちは我先にと水槽に殺到し、かなり長い時間水を飲めていなかったことが推察されました。この事例に限らず、様々なかたちで生産性が犠牲になっている例が沢山あります。勿体ないことです。このような生産ロスを軽減するためには、牛や作物を「観察」することがきっかけとなりますが、同じものを見て、人によってそこから得られる情報の量や質には大きな差があります。「観察」により得た情報により有益なものにするためには、経営者自身が「家畜や作物生理の基礎を理解しておくこと」、「しっかりとした経営目標を持つこと」、「目標達成のために自ら何ができるか意識する

こと」が必要です。そしてその成果を高めるためには場数を踏み、日常の配慮や工夫につなげることが大事です。

計根別地域では、新たなTMRセンターの設立、哺育育成センターの整備、乳加工品の商品化に向けた試作、ジュニアホルスタインクラブの活動支援など、地域農業の将来を見据えた取組が継続して展開されています。様々な課題はありますが、これらの取組を活かし、計根別の農業に係わる全ての人達が「自分にできることは何か」を意識し、今年一年、目標達成に向けた活動が進められ、地域活性が図られますよう、農業改良普及センターも微力ながらお力添えができればと考えています。

結びになります。本年もJAけねべつにとりまして、稔り多い一年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成  
28年度

# レディースフェスタ

12月6日、女性部の一大イベント「レディースフェスタ」が中標津町交流センター（計根別）にて行われました。

今年はジョイライフの大試食会を実施し、部員34名と来賓で、普段なかなか食べる機会のない商品を実食し、談笑しました。

満腹になり、会話も楽しんだ後は50円玉2枚を使った「一発千金」、「輪ゴム渡し」、長谷川部長が参加者の女心を当てる「J A けねべつ」の女神さま、チーム対抗戦で協力しながら

行った「重さぴったり当てゲーム」等を行い、とても楽しい時間を過ごすことができました。

その他に各支部や個人で作った作品の展示が行われ、参加者の皆さんがじっくりと見入っていました。また来年も実施予定ですので、女性の皆さまのご参加をお待ちしております！

《事務局 中野係》



勝負運が強いお三人!



集合写真



大人も子供も楽しんでくれました!



ポリ袋を使って皆で調理中...



今泉さん、ありがとうございました!

《事務局 中野係》



信夫委員長挨拶

よる実際の体験談を交えた講演内容に、参加者一人一人が真剣に耳を傾けていました。

また、火を使わないレシピを実際に作成し実食を行いました。缶詰を使ったとは思えない味に皆さんが驚きながら箸を進めていました。

参加したみなさん、お疲れ様でした。

第44回  
別海町酪農女性のつどい

12月2日、別海町中央公民館にて『第44回別海町酪農女性のつどい』が開催され、部員7名が参加しました。

今回は今泉マユ子氏による「災害時に役立つ災害食」の講演を聴きました。今泉氏に

第65回 全道JA青年部大会開催!

12月1、2日の2日間、札幌市パークホテル札幌で開催されました、全道JA青年部大会に当青年部より5名の部員が参加致しました。

大会では、青年の主張発表大会、組織実績発表大会、分科会、アームレスリング大会、講演会と盛りだくさんの内容が組まれておりました。

青年の主張発表大会では当青年部より西部支部の本田拓哉君が根室管内の代表とし発表：素晴らしい発表で優秀賞を受賞致しました。

アームレスリング大会では、こちらも当青年部南部支部の加藤司君が根室管内の代表として出場！なんと優勝者と1回戦目から当たってしまい、残念ながら敗戦となってしまいました。

けねべつって結構その年の優勝者と1回戦目で当たること多いよね…。

講演会では、あの『あぐり王国北海道ZEXU』の金井憧れ氏を講師としてお迎えし、番組で全道の農業と触れ合っただけだと話してくれました。

2日間の期間で、他地区の青年部の活動や、盟友の想いを聞き、盟友と交流することで、良い刺激を受けられたと思います。この刺激を原動力として当青年部がより積極的に活動していきたい、農業の先駆者として頑張っていきたいと思えます。



青年の主張発表の本田君！素晴らしい発表でした！



アームレスリング大会！加藤司君！



優秀賞おめでとう！



久保会長も壇上にて発言しております！

平成28年もありがとうございます!感謝の気持ちを込めて…。

## 乳製品お歳暮ギフト発送!

乳製品消費拡大を謳い展開してきた乳製品お歳暮ギフト事業ですが、皆様のご協力をもちまして911セットものご注文を頂きました。  
 組合員さんから親戚、友人、関連企業へと広がり乳製品消費拡大の輪も大きくなる事が出来ました。  
 普段の酪農業と違い、慣れない箱詰めや包装といった作業で悪戦苦闘しながらも、青年部全員で一致団結し無事発送を終える事が出来ました。  
 今後とも青年部の消費拡大事業にご協力とご鞭撻の程、宜しく致します。



10月より青年部事務局長の小林ともにも挨拶をもらいました!



12月19日にウェディングプラザ寿宴にて忘年会を開催致しました。  
 良い意味でも悪い意味でも大きく揺れ動いた農業情勢：平成29年は青年部で連携してこのうねりを乗り越えるぞ!と未来へ向けて一致団結した今日この頃でございます。  
 どんな課題があっても、この若い力と勢いがあれば、乗り越えていける：そんな気持ちを持たせてくれる、非常に盛り上がった会となりました。



全道JA青年部大会へ参加した部員より参加した感想を発表してもらいました!



今回の全道JA青年部大会の代表者対決! 勝者、青年の主張!



余興では支部対抗アームレスリング大会!優勝は西部支部!あのレジェンドの対決も…。

平成28年もお疲れ様でした!  
 平成29年も頑張っていきましょう!



東部地区



2017酉年

組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方に今年の抱負などを語っていただきました。  
★マークは8回目の酉年を迎えた方です。



(東計根別)  
**大友 義市さん**  
ハッピーに過ごしたい



(中計根別)  
**飯島 悠斗さん** (裕治さん)  
勉強と部活を頑張りたい



(中計根別)  
**葛西 裕之さん**  
盤石の構えで



(中計根別)  
**葛西 彩愛さん** (裕之さん)  
6年生になるので  
低学年を引っ張っていきたい



(西計根別)  
**本田 敏明さん**  
トップを!



(若竹)  
**柵木 空さん** (春美さん)  
剣道を頑張る



(若竹)  
**近藤 清吾さん**  
平穩無事に暮らす



(東西竹)  
**坂井 広志さん**  
ドローンを経営に



(購買部)  
**須貝 侑平さん**  
痩せてかっこよくなります!



(金融共済部)  
**成戸 道典さん**  
ラブ アンド ピースで。



(購買部)  
**佐藤 厚柱さん**  
今後とも  
よろしくお願いします。



職員

## 南部地区



(中本別)  
**熊坂 トキさん**  
このまま笑顔で  
過ごしたいです



(共進)  
**高橋 和美さん**  
健康で一年



(共進)  
**高橋 洋美さん**  
健康で楽しく過ごしたい



(酪進)  
**穴戸 悦子さん**  
健康第一！



(酪進)  
**二瓶キミ子さん**  
頑張って野菜作りしたい



(中本別)  
**中村 勝利さん**  
交通安全、家内安全、  
元気いっぱい！



(中本別)  
**大澤 侑矢さん**  
がんばります！！



(酪進)  
**穴戸 喜美さん**  
マイペース



(酪進)  
**穴戸 春菜さん (一哉さん)**  
中学で部活を頑張る



(西上標津)  
**永利 嘉熙さん (嘉成さん)**  
野球を頑張る

## 西部地区



(西養老牛)  
**本田 信幸さん**  
元気に暮らしたい



(西養老牛)  
**本田 慶治さん**  
一番苦しい時代に生まれ育ち、  
ここまでできました。



(北養老牛)  
**味元 玲子さん**  
いつでもスマイル



(北養老牛)  
**関根 涼花さん (義夫さん)**  
健康第一！

# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA北海道中央会



HBCラジオ「秋の恵みに感謝カンゲキ！北海道農業応援スペシャル!!」（11月3日）を通して、農業の魅力を一日中発信し続けました。寄せられたメッセージは4,566件。内田副会長がグリーンツーリズム等についてお話をされた、カーナビラジオ公開生放送には、のべ400名が来場と、大盛況。

スマートフォンアプリ「JA2MP」では、道内の生産者や直売所を巡る中継キャラバン等の期間限定お宝画像も発信。地域との繋がりが感じられるサポーター550万人づくりへの貴重な一日となりました。

## JA北海道信連



11月に農業経営者支援の一環として「農業経営フォーラム」を開催。

「あぐり王国」の森崎博之氏が所属する（株）クリエイティブオフィスキュー 鈴木代表に「道内農業の魅力の再発見と発信」を、学習院女子大学 江口名誉教授に「道内農業に求められるマーケティング発想」を講演頂き、参加者からは「農業経営のヒントを得た」「農業の魅力を探求する姿に感銘を受けた」等好評を頂きました。



## ホクレン



全道のホクレンSSで平成28年7月～9月に展開した「2016『ラブ&ハート』チャリティキャンペーン」に寄せられた募金と一部売上の、総額300万円を北海道社会福祉協議会へ寄託しました。今年で35回目の当キャンペーンは、社会貢献活動「ホクレンシーズプロジェクト」の一環。道内約780の児童保育施設に、絵本や文学書の購入費用としてご利用いただきます。



## JA共済連北海道

生命共済と傷害共済で、入院・通院共済金をご請求していただく場合、診断書取得・提出をいただいておりますが、所定の条件を満たせば「治療報告書制度」による自己申告と領収書提出のみで共済金をご請求いただけます。

病院で診断書を取得する手間や費用負担も無くなり、共済金ご請求までの時間が短縮できるメリットがございますのでご利用ください。ご利用条件については、ご加入先のJAへお問い合わせください。

## JA北海道厚生連



平日に時間がとれない方へ、完全予約制の土曜日健診を開始しました。

【旭川】毎月第2・4土曜 土曜ドックを実施。（男性対象・各種オプション検査可能）随時予約受付中ですので、お電話でお問い合わせください。（TEL0166-33-7171）

【札幌】毎月第2土曜に、脾臓・胆のうドックを実施中。（TEL011-251-5713）

【帯広】オプション検査「脳ドック」を平成29年1月より毎月第2土曜に実施いたします。（TEL0155-24-4161）

# 生乳販売情報

平成28年度11月末 管内農協生乳受託実績表

(kg)

農協名	月 計		累 計		搾乳戸数	
	乳 量	前年比	乳 量	前年比		
J A 標 津 町	8,052,633	103.5	67,739,426	103.8	135	
J A 中 標 津 町	9,925,462	98.3	85,629,507	101.3	170	
<b>J A け ね べ つ</b>	<b>6,898,642</b>	<b>101.3</b>	<b>59,419,038</b>	<b>103.3</b>	<b>143</b>	
J A 中 春 別	9,477,400	101.2	80,253,380	102.7	170	
道東あさひ	西 春 別 支 所	7,055,877	97.0	59,973,919	99.2	139
	上 春 別 支 所	4,711,493	90.0	40,093,111	93.7	72
	別 海 本 所	11,836,250	97.1	103,609,361	99.7	241
	根 室 支 所	3,770,269	99.2	32,666,838	99.4	85
	小 計	27,373,889	96.1	236,343,229	98.5	537
合 計	61,728,026	98.7	529,384,580	100.8	1,155	

# 市場情報

ホクレン根室家畜市場 一般市場 12月21日開催分

税込み

畜種	出場	成立	最高	最低	平均	先月との差
初生・ホル オス	159	159	189,000	108	61,004	-12,046
初生・ホル フリーマシ	16	16	62,640	2,160	17,820	-5,220
初生・ホル メス	20	20	405,000	51,840	263,034	-312
初生・F1 オス	136	136	381,240	24,840	296,778	-745
初生・F1 メス	130	130	286,200	1,080	191,949	11,213
初生・和牛 オス	18	17	706,320	325,080	597,748	14,068
初生・和牛 メス	10	10	642,600	489,240	577,584	50,760
初生・肉専用種 メス						
初生・肉専用種 オス	2	2	218,160	137,160	177,660	30,780
初生・その他 オス	3	2	15,120	9,720	12,420	12,420
初生・その他 メス						
乳牛・ホル 育成	65	64	680,400	72,360	491,113	62,629
乳牛・ホル無登録育成	1	1	360,720	360,720	360,720	
乳牛・ホル 初妊	15	13	953,640	500,040	850,292	88,380
乳牛・ホ無 初妊牛	2	2	94,392	656,640	800,280	800,280
乳牛・ホル 経産	9	9	585,360	131,760	389,040	18,690
乳牛 他乳用種	2	2	797,040	314,280	555,660	371,520
肉素・乳用交雑 (F1) オス	3	3	452,520	224,640	319,320	103,104
肉素・乳用交雑 (F1) メス	9	8	367,200	113,400	315,360	64,800
肉素・ホル中トク メス	1	1	140,400	140,400	140,400	-11,720
肉素・ホル中トク ヌキ						
肉素・ホル中トク オス	1	1	113,400	113,400	113,400	
肉素・ホ12ヶ月以上メス	20	19	353,160	82,080	263,406	13,316
肉素・黒毛和種オス						
肉素・黒毛和種メス						
肉素・黒毛和種ヌキ						
廃用・その他						
廃用・ホル	165	165	373,680	23,760	154,034	2,030
廃用・黒毛和種	7	7	432,000	331,560	393,429	393,429
繁殖黒毛和種						

ホクレン十勝地区家畜市場 (音更町)

肉牛 (和牛) 市場 12月16日開催分

税込み

畜種	出場	成立	最高	最低	平均	先月との差
肉牛・黒毛 メス	495	473	1,318,680	172,800	765,304	-14,597
肉牛・黒毛 メスET	179	167	1,062,720	644,760	815,232	-8,108
肉牛・黒毛 メス計	674	640	1,318,680	172,800	778,332	-15,881
肉牛・黒毛 オス						
肉牛・黒毛 去勢	832	785	1,244,160	356,400	903,626	-8,412
肉牛・黒毛 去勢ET	295	259	1,185,840	321,840	915,060	-13,655
肉牛・黒毛 去勢計	1127	1044	1,244,160	321,840	906,462	-10,562
肉素・肉専用種 去勢						
繁殖・黒毛	53	47	1,251,720	173,880	670,519	-119,941
繁殖・乳用交雑種	4	4	712,800	594,000	643,680	
廃用・黒毛	152	146	625,320	72,360	309,605	-73,199
廃用肉専用種	3	3	419,040	384,480	403,920	

## 計根別農協乳牛頭数・肉用牛頭数

12月1日現在

乳用種 (区分)	頭数	先月との差
未経産 12ヶ月未満	3,481	-97
未経産 12ヶ月以上	3,953	27
その他の未経産	57	0
計	7,491	-70
経産牛 (ホル)	10,256	-162
その他の経産牛	39	-1
計	10,295	-163
合 計	17,786	-233

肉用種 (区分)	頭数	先月との差
黒毛和種 メス	522	-12
黒毛和種 オス	66	-9
計	588	-21
F1 (交雑種) メス		
F1 (交雑種) オス		
計		
合 計	588	-21
総 合 計	18,374	-254

ホクレン根室家畜市場 乳牛市場 (セール) 12月12日開催分 税込み

畜種	出場	成立	最高	最低	平均	先月との差
乳牛・ホル 初妊	346	345	1,086,480	559,440	937,133	64,411
乳牛・ホル初妊ET	33	32	1,305,720	807,840	1,158,131	104,392
乳牛・ホ無 初妊	6	5	876,960	844,560	868,320	-78,840
乳牛・ホル 経産牛	1	1	434,160	434,160	434,160	
その他の乳用種						
合 計	386	383	1,305,720	434,160	953,386	188,789

計根別農協(ホクチクファーム) 初生トク \*単価 12月26日現在 1,900円/kg



# 探してみよう、乾乳期にできること

11月に北根室地区農業改良協議会が主催した酪農セミナーの内容から、乾乳管理のポイントをまとめました。ほ場作業が落ち着く冬の間、乾乳管理について、もう一度見直してみましょう！



## ポイント①「栄養」

### ●代謝タンパク質(飼料由来のタンパク質+反芻胃内の微生物由来のタンパク質)を充足させる

乾物摂取量を大きく低下させないことが大前提ですが、タンパク質も胎児の成長や、分娩後に備えた筋肉の保持のために重要です。太りすぎないようにエネルギーを抑えつつ、粗飼料の栄養価に応じた単味飼料を給与して代謝タンパク質を充足させましょう。

### ●良質な粗飼料を与える

酪酸が検出されたサイレージの給与は、ケトosisのリスクを高めます。良質なものがない場合は、乾草の併給などの対策を考えましょう。

## ポイント②「施設」

### ●雪の吹き込み対策

軒下から雪が吹き込む環境では、牛舎内を快適には保てません。牛舎の新築時に限られますが、軒の開口部に図のような吹き込み防止板を取り付ければ、雪の吹き込みを解消できます。

### ●冬のフリーバーンは要注意！

コンクリートの上の敷料は、下からだんだんと凍結していることもあります。マットの敷設(写真)によって底冷えを防げば、母牛の横臥時間が増え、子宮への血流と胎児への栄養供給が増加するので、死産のリスクを低減できます。

### ●暑熱対策

乾乳期間中の暑熱対策は乾物摂取量の増加につながり、分娩後のトラブル減少や乳量アップが期待できます。春先にすぐに対策できるよう、換気扇や遮光ネットの取付を検討しておきましょう。

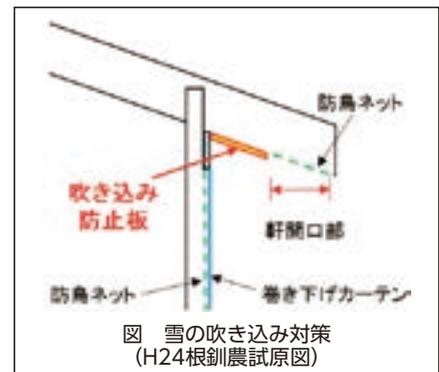


図 雪の吹き込み対策  
(H24根釧農試原図)



写真 底冷え対策でマットを敷設

## ポイント③「管理」

### ●周産期の過密は厳禁！

起立不能や第四胃変位の発生リスクは、休息スペースが狭いと高くなります。

### ●敷料は厚く敷く！

起立不能の発生リスクは、飼養密度が狭くても敷料が厚ければ(15cm以上)リスクが下がる傾向もあります(根釧農試アンケート調査より)。どうしても混雑する時期は、敷料を厚くするなどの管理で、トラブルを回避しましょう！

### ●ぼーっと立っている牛は要注意！

乾乳牛は、寝ているか、起きて食べるか反芻しているか、常に何かの行動をとっているべきです。ぼーっと立っている牛がいる場合は、必ず理由があるはず。ストレスなく「寝て」「起きて」「食べる」環境か、もう一度チェックしてみましょう！

新コーナー

# まちがいさがし

今日はこたつでの～んびり♪

8エリア (A～H) のうち、ふたつの絵でちがうところが7つあります。**まちがいのないエリア**を見つけてアルファベットで教えてください。(答えは1エリア)

まちがいは1エリアに1つとは限りません。同エリア内にまちがいが複数あってもまちがいは1エリアとなります。



● 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内(販売機横)の投書箱へ。または、営農企画係までFAX(78-2556)をお願いします。

《締め切り》平成29年1月20日まで  
当選者の発表は「けねべつ」2月号誌上

クロスワード12月号の答え

## カイコロク

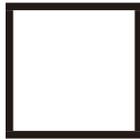
抽選の結果下記の方が当選いたしました。  
プレゼントを営農企画係でお受け取り下さい。

皆川 丈志さん 武田 州司さん  
笹島 育子さん 小林 孝さん  
相澤 親さん

きりとり線

1月号の答え

# まちがいさがし



住所

氏名

TEL

「つばやくべえ～」へ投稿する

きりとり線

## つばやくべえ～



### ■クロスワードパズル

長い間楽しませてくれて有難うございました。担当者的方々御苦勞様でした。

(山親父さん)

### ■サンタの贈り物

子供達が小さい頃、クリスマスプレゼントに頭を悩ませていた事がなつかしいです。(カリンカさん)

### ■新年あけましておめでとうございます

いつも広報けねべつをご覧頂き、誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します!

(広報担当より)

とり貯金箱、金融で販売中です(2千円)



「つばやくべえ～」では皆さんのつばやきやシャッターチャンスなどを募集しています! 営農企画課までメールするか事務所玄関の投書箱への投稿お待ちしております!  
einoukikaku@kenebetsu.ja-hokkaido.gr.jp

# 太田前副組合長が産業貢献賞を受賞



中標津町では、本町の表彰条例に基づき、社会、経済、教育、福祉、文化等の発展に顕著な功績のあった方を讃えるべく、11月25日中標津町総合文化会館にて第39回中標津町表彰を開催した。

今年度の表彰式では16名の町民が表彰され、当農協から太田前副組合長が産業貢献賞を受賞することとなった。太田前副組合長は、平成10年5月から平成25年5月まで理事を務め、平成25年5月から平成28年5月までの3年間は副組合長理事を務めるなど通算18年の永きにわたり本町農業の振興発展に多大な貢献をされたことが認められ、このたびの受賞となった。

また、西竹地区の有原国男さん、計根別地区の漆原功さんが永きにわたり固定資産評価協力員として税務行政の推進に貢献されたことから自治貢献賞を受賞。さらに、養老牛地区の百崎重夫さんが14年の永きにわたり、熱心な執筆活動を続け、地域郷土文芸の普及振興に多大な貢献をされたことから教育文化奨励を受賞した。

